



きぬこかい新聞

発行
国土交通省
下館河川事務所
きぬこかい情報発信局

〒308-0841
茨城県筑西市二木成1753
Tel. 0296-25-2161
HPアドレス
<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/>



集中豪雨や台風などに備え堤防の点検や水防訓練を実施しています

堤防点検

下館河川事務所では、六月四日から六月十四日にかけて鬼怒川・小貝川の管内全区間において堤防点検を行いました。堤防などの河川管理施設等について、毎日の「河川巡視」、ゴールデンウィーク前に「安全利用点検」、出水期前に「許可作物履行検査」及び「重要水防箇所合同巡視」等を行い河川の維持管理に努めておりますが、河川堤防の安全性・信頼性をさらに高めていくために、堤防の除草直後において職員の見視により変状(崩れ・穴等)がないかを確認し、堤防点検を行っています。防災エキスパートの方にも協力・参加いただき点検、出水期に備えています。



堤防点検の様子



水防訓練

五月二十七日(日)小貝川母子島遊水地内において、「筑西市消防団水防訓練」が市消防団をはじめ筑西市消防署、筑西土木事務所、下館河川事務所職員など約五百人の参加で行われました。訓練は大雨による堤防決壊に備え消防本部の指導のもと
①「積み土のう(堤防天端に土のうを積み越水防止)」
②「木流し(流れを緩やかにまたは変化させて洗掘防止)」
③「シート張り(川表の洗掘を防ぎ透水防止)」
④「五徳縫い(竹の弾力を利用し、のり先の亀裂拡大防止)」
⑤「折り返し(竹の弾力を利用し天端の亀裂拡大防止)」
⑥「月の輪(堤防裏側の水の圧力を弱め漏水拡大防止)」等の伝統的な各種の水防工法の訓練を本番さながらに行いました。



悪質な行為の水質事故

鬼怒川・小貝川センターの管轄する範囲において、平成二十四年度水質事故件数が四月一日〜六月二十五日現在で十一件となっております。

そのうち、鬼怒川の勝瓜頭首工上流で発生した水質事故は、何者かが川に蓋を開けた状態でオイル缶を投棄したため、下流の勝瓜頭首工まで油膜が広がる事態となりました。

勝瓜頭首工で溜めた水は、農業用水として利用されています。また、さらに下流では飲み水としても利用されています。現在も捜査中ですが、今後このように悪質な行為を見かけた方は、下館河川事務所まで連絡をください。きれいな川を守るため、皆様のご協力をお願い致します。



捨てられたオイル缶



油が川に浮いている状況

下館河川事務所 管理課
TEL:0296-25-2169

フジバカマを守る! 高祖道小学校が除草を実施

六月十六日(土)フジバカマを守るための除草活動を高祖道小学校の児童、保護者、先生の約四十人が参加、実施しました。フジバカマとは秋の七草の一つで、将来的に絶滅の危険性がある準絶滅危物です。そのフジバカマを



フジバカマ&除草中

保護しようとして除草活動を行っています。

第31回 川の写真コンクール

川の写真コンクールは、川と人のふれあいをテーマとして、川への思いや風景などの写真を応募していただくものです。みなさんの傑作をお待ちしています。

- 応募期間: 平成24年7月1日から9月14日(必着)
- お問い合わせ: 国土交通省 関東地方整備局 河川管理課 Tel.048(600)1338

ホームページアドレス
<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/index.html>

7月14日(土) 鬼怒川・小貝川クリーン大作戦

☆地域の皆様・企業の皆様ふるってご参加ください☆

今年で22回目のクリーン大作戦は、鬼怒川及び小貝川の流域市町・栃木県・茨城県・下館河川事務所などで構成する「鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議」の主催で、堤防や河川敷に捨てられたゴミの清掃を行うため、鬼怒川及び小貝川流域の23市町において実施を予定しています。

開催場所や時間の詳細については、地域の広報誌をごらんいただくか、お住まいや参加頂ける各市町へお問い合わせください!

地域と一体となった外来種対策



鬼怒川のれき河原の自然を守るシナダレスズメガヤ対策など地域と一体となった鬼怒川での外来種対策の取組を下館河川事務所のホームページで紹介しています。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/>

結城市水防訓練



川の増水に注意!

今年に入り、五月、六月とすでに二回の増水がありました。小貝川では、河川の増水で車が取り残されるという事態が起きました。運転手、車とも無事に救出されましたが、雨が多いときや川の水位が高いときに河川を利用する際は十分に注意してください。



シナダレスズメガヤの抜き取り作業

六月十日(日)、さくら市向河原地先の東大カワラノギク実験地において、うじいえ自然に親しむ会の皆さんと氏家出張所職員が参加し、外来種のシナダレスズメガヤの抜き取り作業が行われました。この場所は、れき質河原の動植物保全地となっており、うじいえ自然に親しむ会の皆様を中心となって活動されています。



「うじいえ自然に親しむ会」 河川功労者団体として表彰される

うじいえ自然に親しむ会は、五月二十五日(金)砂防会館(東京都千代田区平川町)において、河川功労者表彰を受けました。

表彰式には加藤啓三会長ご夫妻が出席され、公益社団法人日本河川協会から、多年にわたる地域の貴重種保全活動や外来植物の除去活動、各種自然観察会の実施、小学校等での環境授業等の活動が認められ、「河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった」として、河川功労者表彰を受けました。

